

町外へ進学する生徒にも支援策を講じるべきでは

町長 現在考えていません。
商業高校の存続が大命題です。



あびこひろまさ
我孫子 洋昌 議員

「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直し

質問

①人口減少の原因は、施策の効果が無かったからか、それとも施策が実施できなかったからですか。

②総合戦略に「人口減少と町民所得の減少は関連する」との記載がありますが、現状をどう認識しますか。

町長 ①2025年の目標人口(2,849人)達成に向け、更なる移住定住施策、基幹産業の振興などを積極的に進めたいと考えます。
②このまま少子高齢化や人口減少が加速すれば、地域経済の縮小や雇用の場も減少し、特に若者の流出を懸念しており、大変厳しい状況だと認識しています。

再質問

目 標人口は、施策ごとに、どの世代を何人、維持する、雇用するという数を積み上げたものですか。

町長 今年の1月から3名しか出生していません。社会環境が様々変化する中で、正確な目標値を作るのは適わないところがあります。

子ども施策

質問

①「就学前子どもの教育・保育等に関する条例」では、育児休業後に復職する保護者の規定がありますが、非正規雇用の方の多くは、出産を機に退職するため対象外です。条件を緩和して、必要とする保護者が誰でも預けることを可能にすべきです。
②B&G海洋センターで、プールのオムツを着用した幼児が利用できない状況ですが、受け入れを検討しますか。
③町外の高校に通学する生徒について、町は経済的支援をしない考えですが、生徒や保護者へ聞き取りを行うべきです。

町長

①子どもの受け入れは国の基準を踏まえた運用となることをご理解ください。今後も保育士の体制を整え、保育支援環境、子育て支援の充実を図るよう努めます。

教育長

② 昨今のプール用オムツ、例えば専用スリムな吸収体が使われているオムツであれば、漏れのある程度防ぐものと考えます。
そこで、幼児用プールでの使用に限定すること、オムツの上に水着を着用すること、使用後はセンター内に廃棄せず持ち帰ることなどの利用条件を周知し、守っていただくことを前提に受け入れること、各委員の意見も参酌しつつ、来年度のプール開きに向けて検討したいと考えます。

③下川商業高校の存続のため、魅力ある学校づくりの活動支援や、入学者確保と在校生への支援を継続する必要があります。町外の高校に通学する高校生への支援は現在考えていません。

再質問

③下川商業高校を選んだ理由を、「町外の高校への進学に関する支援制度が無いから」という町内の生徒はいませんか。

教育長

そのような話は聞いたことはありません。

町民からの意見への対応

質問

広報「知恵の環」欄に掲載された「病院での受診後にハイヤーが手配できなかった件」への対応はどのようなものですか。

税務住民課長 投稿者ご本人に直接文書で回答しています。

病院事務長 今回の知恵の環で初めて実態を知った状況です。受付窓口と外来看護師に情報共有したいと思っています。

再質問

町民の意見や考えが町の取り組みに反映されて、ひとつひとつ課題を解決していくことは、職員のやりがいの向上にもつながると思います。それとともに住民の満足感も高まるのではないのでしょうか。

